南側エリア
川端王子～祓戸王子

迷いそうな場所には道路に導き石を埋めています。また案内看板やストリートプリントも整備していますのでお目印にして進んでください。

トイレ　休憩所　● 案内板等
スーパー　バス停　○ 導き石
ストリートプリント

迷いそうな場所には道路に導き石を埋めています。また案内看板やストリートプリントも整備していますのでお目印にして進んでください。

トイレ　休憩所　● 案内板等
スーパー　バス停　○ 導き石
ストリートプリント

9 光恩寺庫裡
（市指定文化財建造物）

明治13年（1880）に和歌山城本丸御台所を移して庫裡とし、その他にも本丸御殿の建物の一部を移し本堂としました。本堂はのちに暴風雨により倒壊し、現在庫裡のみが残っています。

10 宇藤家住宅（国登録有形文化財）

明治前期の建築で、大正前期に増築されています。本造平屋建てで正面は上部壁を黒漆喰、下部は黄漆喰仕上げをおこなっており、変化に富む外観をもつ近代農家建築です。

※個人所有のため外観のみご見学ください。

11 長多家住宅
（国登録有形文化財）

熊野古道近くに建つ農家建築で、主屋のほか土蔵、門長屋、土塀など屋敷を構成する建物がよく保存されています。主屋の建設年代は明治前期頃で敷地中央に南面して建てられています。土蔵は明治後期、門長屋と土塀は大正期のものと考えられます。

※個人所有のため外観のみご見学ください。

12 旧中筋家住宅
（国重要文化財建造物）

江戸時代末期に栄えた和佐組大庄屋の屋敷です。主屋は嘉永5年（1852）に建設され、3階の望山楼や20畳敷きの大広間など、紀の川流域随一の規模を誇っています。

公開時間は午前9時から午後4時30分まで（ただし、入場は午後4時まで）、公開日は3月から11月までの間の土曜日、日曜日、祝日です。

13 歓喜寺の柏槙
（市指定天然記念物）

歓喜寺には中世以来、熊野古道を往来する人々に「接待」を行う「接待所」と呼ばれる施設が置かれていました。また、寺には市内に生育する柏槙のなかでも数少ない巨木があります。

矢田峠・紀伊国名所図会

14 中筋家住宅（国登録有形文化財）

大庄屋中筋家から文政10年（1827）に分家した家です。明治20年（1887）の建築で、主屋は大規模な平屋建て、桟瓦葺でふんだんに良材を用いて高度な技能で造られています。

※個人所有のため外観のみご見学ください。

15 伊太祈曽駅検査場（国登録有形文化財）

大正5年（1916）に山東軽便鉄道として大橋（現和歌山駅の南西）～山東（現伊太祈曽）間が開通した当時から使われている車両の検査場です。石積みのプラットホームと上屋も登録されています。

16 伊太祈曽神社1号墳
（市指定史跡）

伊太祈曽神社の境内にある直径16m、高さ5mの円墳です。埋葬施設は横穴式石室で岩橋千塚古墳群に多くみられる「岩橋型」と呼ばれる特徴的な形態をしており、6世紀頃に築造されたと考えられます。

※伊太祈曽神社の社務所でかぎを借りて石室内を見学できます。

横穴式石室内

伊太祈曽神社・紀伊国名所図会

17 伊太祈曽神社

本州に植樹をおこなった五十猛命を祭神とする神社です。御神木の穴をくぐると厄除けになる「木の俣くぐり」でも知られ、古くから紀伊国一之宮として親しまれています。

18 武内神社

景行・成務・仲哀・応神・仁徳天皇に仕えた伝説上の人物である武内宿禰を祀る神社で、境内には武内宿禰産湯の井戸があります。紀州徳川家に子供が生まれたときは、長寿にあやかるためこの井戸の水を産湯として用いていました。

武内宿禰産湯の井戸

四つ石地蔵

19 薬勝寺跡

平安時代の仏教説話集である『日本霊異記』に登場する「薬王寺」に比定され、現在の薬王寺周辺からは奈良県の川原寺で使用された瓦に類似する奈良時代前期の瓦や鴟尾が出土しています。

軒平・丸瓦

20 滝ヶ峯遺跡

弥生時代の高地性集落です。弥生時代後期前半の竪穴建物3棟と空堀が確認されています。空堀内にはハイガイ・ハマグリ・ヒメタニシなどからなる貝層が形成され、貝層からは重要な遺物として貝輪や前漢鏡が出土しています。

弥生土器

熊野古道

熊野三山は紀伊半島南東部に位置し、京の都からも日本各地からも遠いため、参詣者それぞれの出発地に応じて紀伊半島西岸を進む「紀伊路」、紀伊半島東岸を進む「伊勢路」、高野山と熊野三山を結ぶ「小辺路」の大きく分けて三つの経路が開かれました。

熊野三山への参詣は平安時代の中頃から始まり、室町時代まで盛んに行われました。室町時代の終わりごろには一般民衆の参詣も増え、多くの参詣者が列をなして歩んだことから「蟻の熊野詣」と形容されました。

熊野古道は平成16年（2004）修験道の拠点である「吉野・大峯」、熊野信仰の中心地である「熊野三山」、真言密教の根本道場である「高野山」の三霊場とそれらを結ぶ参詣道などとともに「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。

熊野古道は大阪市内にあった窪津王子（現在の天満橋駅周辺）から南下し、和歌山市内には雄ノ山峠の少し手前の滝畑から和歌山市内に入ります。和歌山市内には滝畑の中山王子から口須佐の奈久智王子まで9か所の王子が存在します。

※和歌山市内の熊野古道は世界遺産には登録されていません。

標準歩行記録

山中渓駅～布施屋駅　約16.4km

山中渓駅（10:00）— 山中宿関所跡（10:20）— 1 中山王子（10:44）— 雄ノ山峠（11:15）— 2 山口王子（11:41）— 3 川辺王子（12:36）— 4 中村王子（13:00）— 力侍神社（13:05）— 周辺で休憩（13:55発）— 川辺橋（14:20）— 5 吐前王子（14:49）— 布施屋駅（15:10）（5時間10分）

布施屋駅～海南駅　約16.3km

布施屋駅（10:00）— 6 川端王子（10:05）— 7 和佐王子（11:00）— 矢田峠（11:30）— 8 平緒王子（12:04）— 周辺で休憩（12:45発）— 伊太祈曽神社周辺散策（13:15発）— 9 奈久智王子（13:25）— 四つ石地蔵（14:20）— 10 松坂王子（14:38）— 汐見峠（14:57）— 11 松代王子（15:23）— 12 菩提坊王子（15:32）— 13 祓戸王子（15:48）— 海南駅（16:03）（約6時間）

熊野古道全体図（和歌山県内）